五小だより - Go forward together! -

安心して学び、安心して挑戦する一年へ！

館林市立第五小学校

令和8年11月5日　No.15

https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daigo/

あの全力を、教室へ。

自ら考え、学びを深める授業へ

もう、一月近くも前になるのですね。10 月 17 日の運動会。走る、踊る、仲間を励ます。子どもたちはそれぞれの全力を発揮し、素晴らしい一日をつくってくれました。あの日、閉会式で私が投げかけたのは、「次はどこを目指しますか」という問いでした。運動会で見られたのは、勝敗や記録だけではありません。仲間と力を合わせ、自分で工夫し、最後までやり抜こうとする姿。その経験を、今度は毎日の授業にも生かしていきたいと考えています。

折しも国では、次期学習指導要領に向けた検討が進んでいます。今年 10 月に公表された「審議まとめ」では、「主体的・対話的で深い学び」の実装など、これからの教育の方向性が示されました。さらに、今回の改訂に向けた議論は、学ぶ内容や指導方法の見直しにとどまりません。各教科の授業時数を調整し、学校が子どもたちの実態に応じて、より柔軟に教育課程を編成できる仕組みも検討されています。何を、どのように学ぶか。そして、限られた時間をどう生かすか。学校の教育の在り方そのものを見つめ直す、大きな転換点を迎えようとしています。五小でも、引き続き、基礎・基本を大切にしながら、子どもたちが自ら考え、友達と学び合い、学び方を工夫できる授業を目指していきます。運動会で発揮された全力を、今度は教室の学びへ。これまでの実践を土台に、五小の教育を、さらに磨いてまいります。



CHECK

①国では、子どもたちが自ら考え、対話を通して学びを深めること、一人一人に合った学びを保障すること、学校で無理なく実現できることを大切に、次期学習指導要領の検討を進めています。この三つの視点は、これからの授業づくりの大切な柱となります。

CHECK

②次期学習指導要領は、現在、国で改訂に向けた審議が進められています。今後、改訂内容の周知や移行期間を経て、学校段階ごとに順次実施される見通しです。図は現時点の想定スケジュールを示したもので、実施時期や先行的な取組の内容は、今後の検討によって変更される可能性があります。







学習指導要領って、何だろう？

「学習指導要領」。少し難しそうな言葉ですが、全国の子どもたちが一定の水準の教育を受けられるよう、国が定めた学びの基準です。社会の変化を踏まえ、およそ 10 年ごとに見直されています。では、全国共通の基準なら、どの学校も同じ授業になるのでしょうか。決してそうではありません。なぜなら、教室にいる子どもたちの疑問や得意なこと、理解に至る道筋は、一人一人異なるからです。学習指導要領は、子どもを同じ型にはめるためのものではなく、学びを保障するための土台です。だからこそ、私たちは「何を教えるか」と同じくらい、「子どもたちにどう届いているか」を大切にしたい。改訂を考える今、まず見つめたいのは、目の前の教室なのだと改めて・・・そう感じています。

五小Web アーカイブ

運動会、稲刈り、社会科見学、校外学習など、10 月の五小は学びと活気にあふれました。今号では、ホームページに掲載した 10 月の記事を、写真を大きくして３ページにわたり紹介します。子どもたちの活動の様子を、ぜひご覧ください。日々の最新情報は、学校ホームページでもお届けしています。





運動会開閉会式リハーサル！

-本番を意識して、開閉会式の流れを確かめました-

10月8日(木)。朝行事から1時間目にかけて、運動会の開閉会式リハーサルを行いました。

運動会に向けて、初めて全校児童がそろって行うリハーサルです。青空の下、子どもたちはいつもの練習とは少し違う緊張感をもちながら、入場や整列、開会式・閉会式の流れなどを一つ一つ確認していきました。

話を聞く姿勢、動き出すタイミング、立つ位置など、全員で合わせなければならないこともたくさんあります。高学年の子どもたちは、それぞれの役割を意識しながら全体を支え、下級生もしっかりと話を聞きながら取り組んでいました。

運動会は、競技や演技だけではありません。こうした一つ一つの場面をみんなでつくり上げていくことも、大切な運動会の一部です。

本番に向けた準備も、いよいよ大詰め。子どもたちみんなの力でつくる運動会が、少しずつ形になってきました！

赤団も白団も、気合十分！運動会の応援合戦練習！

10月13日(火)。今日の朝行事は、運動会の応援合戦の練習でした！ 校庭に集まった子どもたちは、元気なかけ声に合わせて腕を高く上げたり、仲間と動きをそろえたりしながら、張り切って練習に取り組んでいました。赤組も白組も、気合十分！校庭には、子どもたちの元気な声が響き渡りました。運動会の見どころは、競技や演技だけではありません。仲間を励まし、チームの勝利を願って声を合わせる応援合戦も、大きな楽しみの一つです。今日の練習を見ていると、本番ではどんな迫力ある応援が繰り広げられるのか、今からわくわくしてきます！赤団も白団も、心を一つに！運動会当日の熱い応援合戦を、どうぞお楽しみに！





体験を通して学ぶ！

-車椅子体験・高齢者疑似体験から考える思いやりの心-

10月14日(水)。5時間目に、3年生が館林市社会福祉協議会の皆様を講師にお迎えし、車椅子体験と高齢者疑似体験を行いました。

車椅子体験では、実際に車椅子に乗ったり、介助したりしながら、安全な操作の仕方や相手への声のかけ方などを学びました。また、高齢者疑似体験では、専用の装具を身に付け、普段とは異なる体の動かしにくさなどを体験しました。

普段は何気なく行っている動作も、立場や体の状態が変わると難しく感じることがあります。子どもたちにとって、実際に体験することで、相手の立場に立って考えることや、思いやりをもって行動することの大切さに気付く貴重な学習となりました。

大切なのは、今日の体験で感じたことを、これからの生活に生かしていくことですよね！困っている人に気付き、自分にできることを考え、行動できる人になってほしいと思います。

ご指導いただいた館林市社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。





５年生が稲刈りに挑戦！

-地域の皆様と育てた稲を、自分たちの手で収穫しました！-

10月20日(火)。
5年生が、田んぼアートとして大切に育ててきた稲の収穫を行いました。
春から成長を見守ってきた稲も、黄金色の立派な稲穂を実らせ、いよいよ収穫の時を迎えました。子どもたちは、地域の皆様に教えていただきながら、実際に鎌を手にして、一株一株、丁寧に稲を刈り取っていきました。
自分の手で稲を刈り取る体験は、普段何気なく食べているお米が、どのように育ち、収穫されるのかを実感できる貴重な学びの機会となりました。
ここまで稲が立派に育ったのも、田んぼをお貸しくださった地主の方をはじめ、日々の管理や田んぼアートの企画・運営など、様々な場面で支えてくださった多くの皆様のおかげです。改めて、心より感謝申し上げます。
刈り取った稲は脱穀を行い、次はいよいよ収穫祭です！
多くの皆様の温かいご協力によって実ったお米。その収穫をみんなで喜び、味わう日が今から楽しみです！



３年生、地域の農業に学ぶ！

-おいしいキュウリを育てる工夫と、生産者さんの思いに触れました！-

10月20日(火)。
3年生が、学校からほど近いキュウリ農家を見学させていただきました。地域の農家の方の温かいご協力により、実際にキュウリが育てられているビニールハウスを訪れ、農業の仕事について学ぶ貴重な機会となりました。
ハウスの中には、青々とした葉が生い茂り、たくさんのキュウリが育っていました。子どもたちは、普段スーパーなどで目にしているキュウリが、どのような環境で、どのように育てられているのかを、実際に自分の目で確かめることができました。
農家の方には、おいしいキュウリを育てるための工夫や日々の苦労、栽培から出荷までの仕事、そして、どのような思いでキュウリづくりに取り組んでいるのかなど、子どもたちからのたくさんの質問に、一つ一つ丁寧に答えていただきました。
私たちが普段何気なく食べているキュウリ。その一本一本が、農家の皆様の知識や経験、日々の努力によって育てられ、私たちの食卓に届けられていることを知る、大変有意義な学習となりました。
実は、群馬県はキュウリの出荷量が全国第2位を誇る農業県です。そして、私たちが暮らす邑楽・館林地域は、県内でも有数のキュウリの産地です。全国の食卓を支える農業が、こんなにも身近なところで営まれていることは、地域の大きな誇りでもあります。
今回の見学を通して、子どもたちには、地域の農業の素晴らしさとともに、食を支える仕事の大切さや、そこで働く人々の思いを感じ取ってほしいと思います。そして、いつの日か、この地域の農業に関心をもち、未来の農業や日本の食を支える担い手が、五小の子どもたちの中から育ってくれたら、こんなにうれしいことはありません。
お忙しい中、子どもたちのために貴重な学びの機会をつくってくださった農家の皆様、JA職員の方々、本当にありがとうございました！



みんな大好き「たてわり遊び」！

-6年生の頼もしさが、今日も輝いています！-

10月22日(木)。今日の朝行事は、子どもたちが楽しみにしている「たてわり遊び」でした！
校庭と体育館に分かれ、6年生を中心に楽しい時間を過ごしました。校庭では、へびじゃんけんやドッジボールなど、あちらこちらで元気な声や楽しそうな笑い声が響いていました。
そんな中、ひときわ頼もしく感じたのが6年生の姿です。下級生に声をかけたり、遊びを進めたりする姿には、先日の運動会で見せてくれたリーダーシップが、しっかりと生きていました！
学年を越えて一緒に遊び、笑い合う子どもたち。こうした何気ない時間の積み重ねが、学年を越えたつながりを深め、五小の温かな雰囲気をつくっているのだと思います。
今日も、五小の校庭と体育館には、たくさんの笑顔が広がっていました！



四中生の歌声が五小に響く！

-中学生の姿に、未来の自分たちを重ねて-

10月23日(金)。館林市立第四中学校の2年生が五小を訪れ、合唱祭で披露する曲を6年生に聴かせてくれました。
体育館いっぱいに響く中学生の歌声。仲間と心を一つにして歌う姿や、声を重ねてつくり上げる美しいハーモニーは、6年生にとって大きな刺激となりました。
今回の交流は、コミュニティ・スクール(CS)の取組の一環として行われたものです。小学校と中学校がこうして直接交流することは、子どもたちの学びや成長をつなぐ上でも、とても意義のあることですね。四中・2年生の皆さん、本当にありがとうございました！
さて、考えてみれあば、6年生は卒業まであと5か月。6年生にとって、中学校は少しずつ近づいてきていますね。期待もあれば、まだ分からないことへの不安もあることでしょう。しかし、目の前で堂々と歌う中学生の姿は、これからの自分たちを思い描くきっかけとなり、中学校生活への憧れや楽しみを膨らませてくれたのではないでしょうか。
こうした交流を大切にしながら、子どもたちが安心して、希望をもって次のステージへ進んでいけるよう、小中学校のつながりを深めていきたいと思います。



アイデアいっぱい！おもちゃフェスティバル！

-1・2年生の笑顔が広がる楽しい時間-

10月23日(金)。体育館で、1年生と2年生による「おもちゃフェスティバル」が行われました。
会場には、子どもたちのアイデアや工夫が詰まったおもちゃや遊びのコーナーが並びました。おもちゃを囲んで一緒に遊んだり、友達と楽しさを分かち合ったりと、体育館には子どもたちの笑顔が広がっていました。
こうした活動には、ただ遊ぶだけではない、たくさんの学びがあります。どうすれば楽しく遊べるかを考えること、相手に分かりやすく伝えること、友達と協力すること。そして、誰かに喜んでもらえるうれしさを感じること。そう！遊びの中には、子どもたちの成長につながる大切な経験がいっぱいです。
1年生と2年生が一緒に過ごした、楽しいひととき。学年を越えた交流を通して、子どもたちのつながりも、また一つ深まったのではないでしょうか。



県大会の大舞台で躍動！ 館林市の代表として挑んだ５名に大きな拍手！

10月28日(水)、群馬県民の日。前橋市の「正田醤油スタジアム群馬」において、「第53回群馬県小学校陸上教室記録会」が開催され、本校から5名の児童が館林市の代表として出場しました。当日は、強い風が吹き、気温も低い厳しいコンディション。しかし、そんな状況にも負けず、5名全員が堂々と競技に臨みました。
自己ベストを更新する素晴らしい活躍もあり、一人一人が自分の限界に挑み、持てる力を精一杯発揮してくれました。その姿は、実に頼もしく、誇らしいものでした！そして、5名に何よりも感じてほしいことがあります。それは、群馬県を代表するこの大きなスタジアムに立ち、県内各郡市の代表選手たちと同じ舞台で競い合えたことの素晴らしさ、そして、その舞台に立つまで努力を重ねてきた自分自身への誇りです。競技スポーツですから･･･記録や順位はもちろん大切です。しかし、それ以上に、この場所で感じた緊張感、全力で挑んだ経験、他の選手から受けた刺激は、これからの自分を成長させる大きな財産になるはずです。この経験を、ぜひ次のチャレンジへ！そして、5名が感じた挑戦することの喜びや、全力を尽くすことの素晴らしさを、ぜひ五小の仲間たちにも伝えてほしいと思います。
一人の挑戦が、次の誰かの挑戦につながる。そんな前向きなエネルギーが、五小全体に広がっていくことを心から願っています。5名の選手の皆さん、本当によく頑張りました！ 素晴らしい挑戦と活躍に、心から大きな拍手を送ります！





今日も元気に「五小サーキット」

-運動委員会発案の「平均台ゾーン」が新登場！-

10月29日(木)。朝行事で「五小サーキット」が行われました!。

今朝は気温が低く、肌寒い朝となりましたが、児童は元気いっぱいに体を動かしていました。そして今日から、運動委員会の児童が考案した「平均台ゾーン」が新たに加わりました！自分たちで考え、自分たちで決め、そして自分たちで実行する。こうした主体的な取組が、学校生活をより楽しく、より豊かなものにしていきます。

児童のアイデアが形になり、みんなの活動へと広がっていくことをとてもうれしく思います。これからも、児童一人一人の「やってみたい！」を大切にしていきます。



KDDIスマホ・ケータイ安全教室を実施！

-便利だからこそ、安全に！ 自分で考え、判断する力！-

10月29日(木)の6時間目、5･6年生を対象に、KDDIの方を講師にお迎えし、「KDDIスマホ･ケータイ安全教室」を実施しました。

スマートフォンやインターネットは、私たちの生活を豊かにしてくれる便利な道具です。しかし、使い方によっては、思いがけないトラブルにつながることもあります。

今回の教室では、スマートフォンへの依存についてのお話もありました。動画などが次々と「おすすめ」される仕組みにも触れながら、つい使い続けてしまうことの危険性や、自分で使い方をコントロールすることの大切さについて考える機会となりました。

大切なのは、ただルールを守るだけでなく、「こんなとき、自分ならどうするだろう？」と立ち止まり、自分で考え、適切に行動することです。今回の学びをきっかけに、ご家庭でもスマートフォンやインターネットの安全な使い方について、ぜひ話題にしていただければと思います。







